社 報

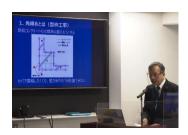


「三方よし」

改善事例発表会

11/19(木)15:00より、清水建設 関西支店 9階 大会議室にて、 インプルーブ21「改善事例発表 会」が開催されました。

当社が応募いたしました、「角 締め金物の製作」は、見事、優秀 賞に選定をいただきました。 これで当社は8年連続で優秀賞 をいただいたことになります。





頭に菅笠、縞の道中合羽をはおり、 肩には前後に振り分けた荷を下げた 天秤棒。江戸時代から明治にかけて 活躍した近江商人の典型的な行商 スタイルである。



近江商人とは、近江国(現在の滋賀 県)に本宅(本店、本家)を置き、他国 へ行商して歩いた商人の総称で、 大坂商人、伊勢商人と並ぶ日本三 大商人のひとつ。「近江の千両天秤」 ともいうように、天秤棒1本から財を築 き、三都(江戸、大坂、京都)をはじ めとする全国各地に進出し、豪商と 呼ばれるまでに発展していった。

近江商人の経営哲学のひとつとし て「三方よし」が広く知られている。 「商売において売り手と買い手が満 足するのは当然のこと、社会に貢献 できてこそよい商売といえる」という

考え方だ。滋賀大学宇佐美名誉教 授によれば、「『売り手によし、買い 手によし、世間によし』を示す、 『三方よし』という表現は、近江商人 の経営理念を表現するために後世 に作られたものであるが、そのルー ツは、伊藤忠商事の初代、伊藤 忠兵衛が近江商人の先達に対する 尊敬の思いを込めて発した『商売は 菩薩の業(行)、商売道の尊さは、 売り買い何れをも益し、世の不足を うずめ、御仏の心にかなうもの』とい う言葉にあると考えられる。」とのこと である。

自らの利益のみを追求することを よしとせず、社会の幸せを願う、 「三方よし」の精神は、現代の企業 理念につながるものとして、伊藤忠 をはじめ、多くの企業の経営理念の 根幹となっている。

以上、伊藤忠商事のホームページ から、抜粋しました。自分の利益ば かりを追いかけていては、世間様に 嫌われるということです。よく覚えて おきたいものです。

当社ホームページは http://www.forbuild.co.jp ご覧になれます。

仕事にあせりは禁物

12月になり、街はクリスマスムードに あふれ、もうすぐに年末・お正月を迎 えようとしています。帰省や旅行の準 備に忙しい方もおられるでしょうし、何 かと、せわしない時期になりました。

そうした雰囲気の中で、仕事をして いると、「あせり」のような気持が生まれ てきます。

各現場とも年末にはここまでやって、 切り良くお正月を迎えようと、工程も 追い込みがかかるかもしれません。 また、日暮れが早いのもこの季節の 特徴です。

心の中に、「あせり」の気持ちが生 まれると、失敗・事故につながります。 今月も事故がありませんように。(拝)

2020年 安全成績

■現場災害 2020.1.1-12.10

休業災害 ----- 0

不休災害 ----- 0

物損災害 ----- 0

その他 ----- 0

計 ----- 0

■交通災害 2020.1.1-12.10

人身災害 ----- 0

物損災害 ----- 0

計 ----- 0